

# 平成 31 年度法人本部事業計画

## 1. 事業計画の概要

前々度からの建て替え工事が完了し、新 1 号館『四恩学園乳児院・地域密着型特別養護老人ホーム』新 2 号館「乳児保育園・四恩みろく乳児院」の開所を迎える。全世代包括支援拠点・乳幼児母子支援センターとしての役割を果たすため、社会福祉事業を地域社会にむけて発信していく。行政、地域住民、各関係機関の協働できる「場」づくりを展開し、財務の安定化・サービスの質の向上・活力ある福祉労働の創造・人材育成に取り組んでいく。今年度の中期計画の最終年度にあたり、次年度からの 5 年計画の策定と人事制度の充実と施設運営をバックアップする法人体制を構築する。

## 2. 利用者の視点「サービスの質の向上へ」

- A) 地域協議会の開催
- B) 全世代型包括支援センター機能の整備・発信（ミックスモダン）
- C) ふれあいフェスタ・地藏盆などのイベント再開（実行委員会の立ち上げ）
- D) 高齢・保育事業の顧客満足度調査体制の整備
- E) 区政委員・地域福祉部会・防災部会など区政関連の委員への参画

## 3. 地域への貢献「地域の福祉課題への取り組み・コミュニティ形成」

- A) ミックスモダンによる地域協働プロジェクトの推進
- B) 母子親子子育て支援センター機能の整備
- C) あびんCoハウス・かりんTaハウスでの「あびんこLabo」の実施  
カルチャー・講座・イベント等の企画内容を立案・実行します。
- D) 子ども朝食食堂の実施（苅田北コミュニティにて）、地域ごちやまぜ食堂の実施
- E) ボランティアの組織化  
各施設のボランティアコーディネーターを配置による、連絡会の開催  
小中高の福祉教育の機会の創造  
福祉人材の発掘（RP）

## 4. 組織プロセス（実施体制・労働環境等）の再構築

- A) 働きやすい職場環境の整備
  - 有給休暇の取得促進と管理体制の構築
  - 就労区分の見直し（同一労働同一賃金）
  - 社内広報誌の発行（年 3 回）いいね委員
  - 新人職員定着に向けた、ヒヤリングの実施
- B) 法人プロモーションの強化
  - ・ SNS の開設（実習性用と子育て支援用）
  - ・ 社会貢献事業の積極的発信
- C) 法人本部の体制の強化
  - ・ 中期 5 年計画策定プロジェクトの実施
  - ・ 本部機能を人事（採用・定着・労務）・広報・人材育成の 3 委員会に部長・課長参画で編成
- D) 法人内連携の強化

